

## 読解力の向上に向けた対応策について

CBTに全面移行する中で、例えば、紙ではないコンピュータ上の複数の画面から情報を取り出し、考察しながら解答する問題などで戸惑いがあったと考えられるほか、子供を取り巻く情報環境が激変する中で、

- 文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすること
- 視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味を吟味して読み解くことなど、次期学習指導要領に向けた検討においても改善すべき課題として指摘されている点が、PISAの結果分析からも具体的に浮かび上がってきたところである。

### ○指導の改善・充実 ～学習基盤となる言語能力・情報活用能力の育成～

#### ◆ 学習指導要領の改訂による国語教育の改善・充実

- 読解力を支える語彙力の強化（例：学習指導要領における語彙指導の位置付けの明確化、読書活動の充実など）
- 文章の構造と内容の把握、文章を基にした考えの形成など、文章を読むプロセスに着目した学習の充実（例：文章の構成や展開について記述を基に捉える学習、文章を読んで理解したことを基に自分の考えを深める学習の充実など）
- 情報活用に関する指導の充実（例：比較や分類など情報の整理に関する指導の充実、実用的な文章を用いた学習活動の充実など）
- コンピュータを活用した指導への対応（コンピュータ上の文章の読解や情報活用に関する指導の充実）

#### ◆ 現行学習指導要領の下での指導の改善・充実

- 次期学習指導要領の方向性を踏まえた指導改善ポイントの作成（2017年度から活用）

### ○調査研究の充実 ～読解力の向上の基盤整備～

#### ◆ 子供たちの読解力に関する詳細分析

- 国立情報学研究所・教育のための科学研究所等と連携し、高校生を対象とするリーディングスキルテストを実施する（2月予定）など、子供たちの読解力に関する課題を詳細分析

#### ◆ 言語能力の向上に関する調査研究（文部科学省）

- 次期学習指導要領の方向性を踏まえた指導改善のポイントに基づく実践的な調査研究

#### ◆ 諸外国の国語の授業におけるICT活用の現状分析と事例収集（国立教育政策研究所）

- 授業におけるICT活用率の高い北欧を中心に、国語の授業におけるICT活用に関する指導の現状を把握・分析し、事例をとりまとめ

#### ◆ 全国的な学力調査におけるICTの活用に関する調査研究

- 全国的な学力調査を活用した、ICT活用型の読解力の測定手法の開発

### ○学校ICT環境整備の加速化 ～「学習上必要な時に一人一台使える環境」の構築～

#### ◆ 自治体におけるICT環境整備の推進

- 第二期教育振興基本計画に定められた学校ICT環境整備目標の達成のため、単年度1,678億円（26～29年間総額6,712億円）の地方財政措置

#### ◆ 学校ICT環境整備の実態把握

- 各自治体における環境整備率の把握及び公表

#### ◆ 教育ICT教材整備指針（仮称）の策定

- 地方公共団体におけるICT環境整備計画の策定及び計画的なICT環境整備を促進する指針を策定するとともに、ICT機器等を調達する際の参考となるガイドラインを策定

※例えば、「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」においては、3クラスに1クラス分の可動式教育用コンピュータが整備されれば、学習上必要なときに一人一台使える環境を実現できるとの意見もあった。

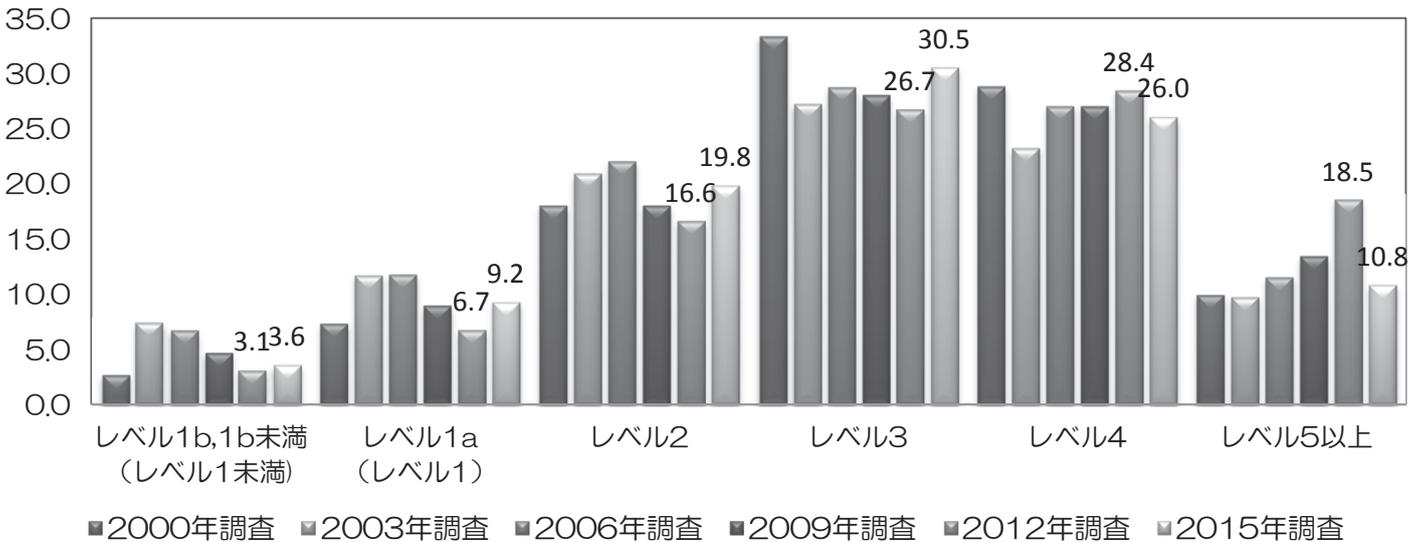
#### <スケジュール>

- 2016年度末 小・中学校学習指導要領改訂（実施は2020年、2021年から）
- 2017年度～ 対応策を早期に展開

## 【別添】PISA2015 読解力の結果分析

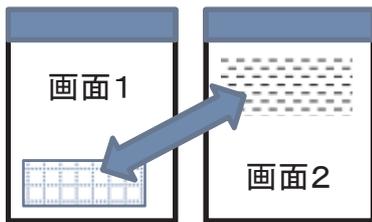
- 従来から見られた「自分の考えを説明すること」などに課題がある。（解答を課題文中から探そうとしているなどの誤答）
- 過去の結果と比べて正答率に大きな変化があった設問の誤答状況を分析すると、
  - ・複数の課題文の位置付け、構成や内容を理解しながら解答することができていない
  - ・コンピュータ上の複数の画面から情報を取り出して整理し、それぞれの関係を考察しながら解答することができていない
 などの誤答が見られた。

読解力の習熟度レベル別の生徒の割合（経年変化）



### 【過去の調査結果と比べて大きな変動があった設問の誤答分析】

○コンピュータ画面上での情報の理解<世界の言語 問3>



設問 1ページ目の「表」と2ページ目の「文章」の矛盾点を説明する

誤答 表と文章の読み取りが正確にできておらず、矛盾点をうまく説明できていない

2画面にわたる表の情報と文章の情報を、それぞれ整理し突き合わせるのがうまくできなかった可能性

○情報の見落とし<ワークライト社 問2>

設問 比較的長い非連続型の文章を読み、解答する

誤答 文章の最後にある情報（注意書き）の位置付けを捉えられていなかったための誤答

○課題文の情報の誤読<本について 問1>

設問 宣伝文、書評1、書評2を読み、作者を解答する

誤答 宣伝文の中にある、本の登場人物や書評の執筆者を解答

課題文の情報を整理しながら読んでいないために

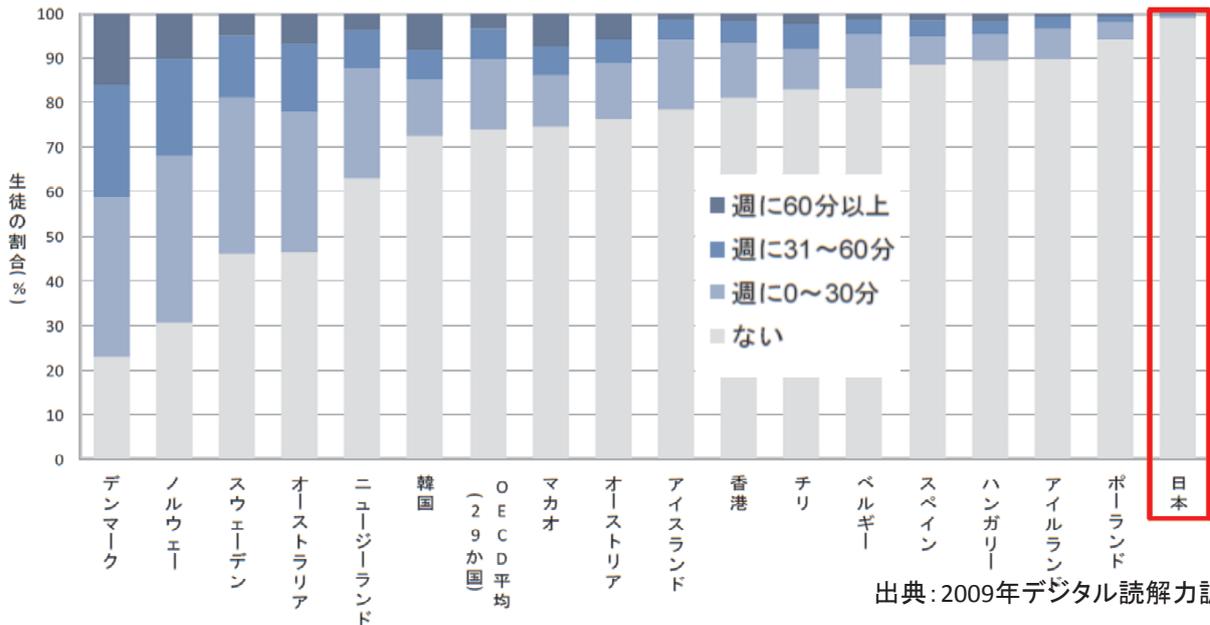
- ・一部の情報について文章全体における意義を捉えられていなかった
- ・複数の文章の関係や個別の情報の意義が捉えられていなかった

などの可能性

# 【参考1】学習におけるICT活用の現状

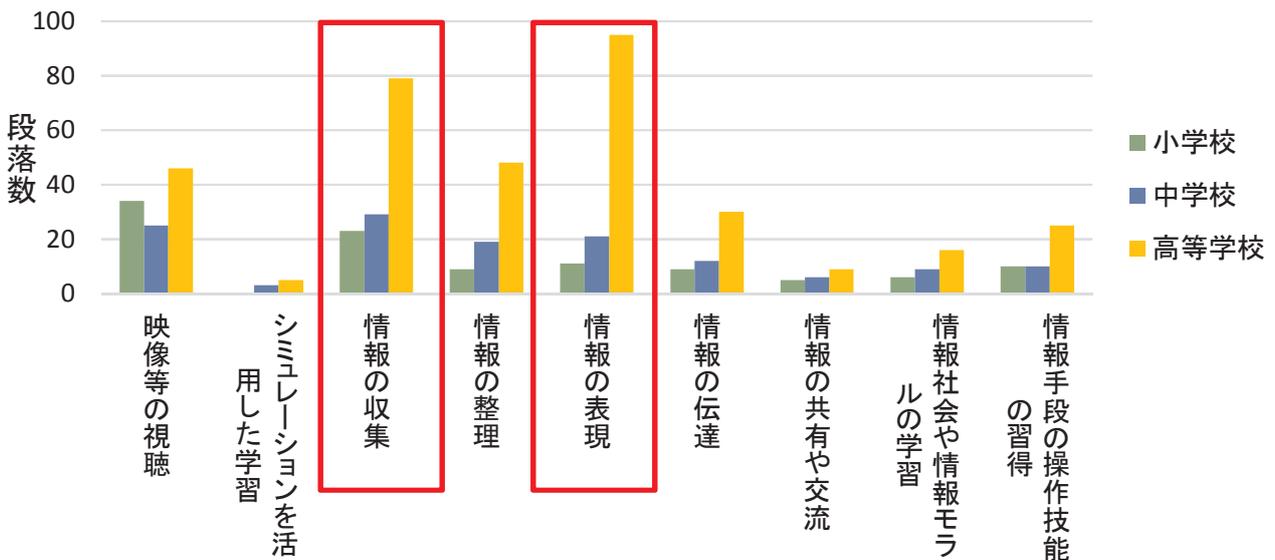
○授業におけるコンピュータの使用状況について、国際的に比較すると我が国は低い傾向  
 ○授業における使用場面は、情報を得る活動が多い傾向  
 ⇒日常の学習において、コンピュータの画面上で考察したり、情報を整理・再構成するような場面は少ない。

## 国語の授業におけるコンピュータの使用状況



(注) 1. 国語の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。  
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの間の結果が公表されていないため本表から除く。  
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

## 児童生徒のICT活用を含んだ学習活動の種類



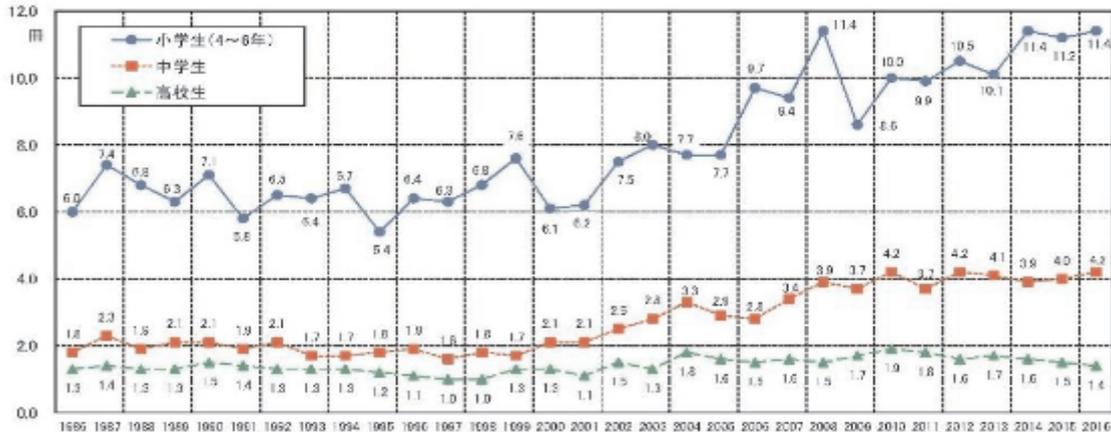
出典：高橋純，堀田龍也（2013），学習指導要領解説における児童生徒によるICT活用が想定される学習活動の抽出と分類，富山大学人間発達科学研究実践センター紀要 教育実践研究，第8号

## 【参考2】子供たちを取り巻く情報環境

- 平均読書冊数について、昨年度に比べ、小中学生は微増しているが、高校生は減少
- 新聞を読んでいると回答している小中学生の割合は減少傾向
- スマートフォンを活用したインターネットの利用時間は増加傾向
- ⇒高校生を中心に、読書量や新聞を読む機会は減少傾向である一方、スマートフォンを活用したインターネットの利用時間が増加傾向にある。子供たちを取り巻く情報環境の変化により、児童生徒が一定量の文章と接する機会も変化していることが考えられる。

### 子供たちの読書状況

【毎年5月1か月間の平均読書冊数の推移】



出典：学校読書調査（公益社団法人全国学校図書館協議会）

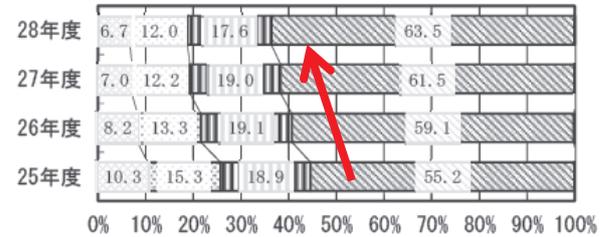
### 子供たちの新聞を読む状況

質問事項：新聞を読んでいますか

#### 【小学校】

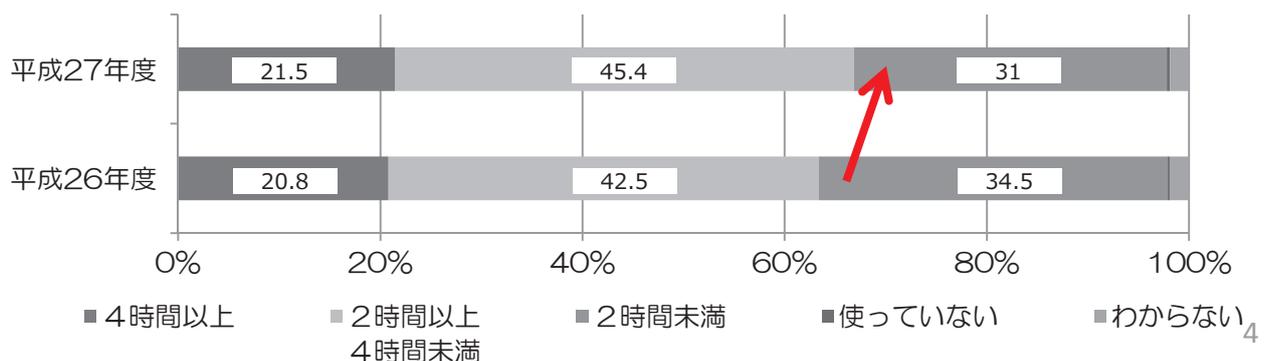


#### 【中学校】



出典：平成28年度全国学力・学習状況調査

### スマートフォンを活用したインターネットの利用状況（高校生）



出典：青少年のインターネット利用環境実態調査